

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名：（日本語）NAFLD関連肝細胞癌と非関連肝細胞癌に対する術後成績の検討

（英語）Comparison of postoperative results between NAFLD-related and non-NAFLD related hepatocellular carcinoma

- ・目的：肝細胞癌は罹患率第5位の癌とされておりますが、その中でも非アルコール性脂肪肝（NAFLD）が関連する肝細胞癌の割合が増加しています。これらはB型やC型肝炎などのウイルス性によるものと異なり、糖尿病や高脂血症などのメタボリック症候群と大きな関連があるとされています。肝切除術は肝細胞癌に対する第一の治療選択肢であります。今までにウイルス性肝疾患やアルコール性肝疾患を原因とする肝細胞癌に対する肝切除の治療効果については様々な研究がされてきました。しかしながらNAFLD関連肝細胞癌に対しては肝切除後の長期成績の検討は十分にされておらず、NAFLD関連肝細胞癌とその他の肝細胞癌との肝切除後の成績の比較を行った研究は少ないのが現状です。当院は肝細胞癌に対する肝切除症例数が多い病院であり、当院でのNAFLD関連肝細胞癌の術後成績を解析することで、今後の治療方針に影響するリスク因子を見つけられるのではないかと考えています。そのため、過去の症例のデータベースを用いて、再発、全生存といった長期予後に影響する臨床病理学的因子の検索を行う予定です。

・研究期間：IRB承認日～2027年3月31日

・研究対象：2007年4月1日～2026年12月31日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

：年齢、性別、BMI、併存疾患、手術術式、手術日、手術時間、出血量、ウイルス感染、アルコール多飲、Child-Pugh grade、ICG、合併症、病理学的因子、再発率、全生存率、再発後の治療歴

利用する者の範囲

：渡邊 幸博

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：渡邊 幸博